

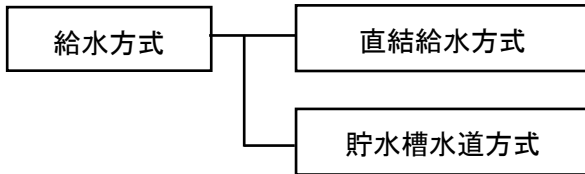
Q

直結給水方式のメリットと普及促進方法について教えてください

A

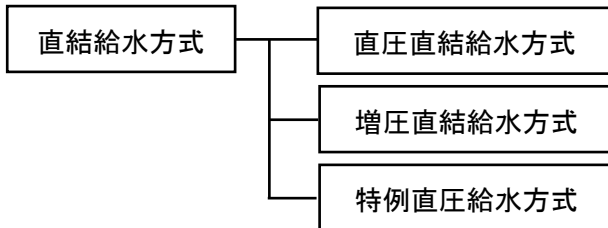
1. 給水方式について

給水方式には、直結給水方式と貯水槽水道方式があります。



2. 直結給水方式について

直結給水方式には、配水管の圧力をそのまま使用する「直圧直結給水方式」と給水管の途中に増圧ポンプを設置する「増圧直結給水方式」があります。さらに、配水管の圧力を有効利用するため増圧ポンプの設置を留保した「特例直圧給水方式」を承認している水道事業者もあります。



3. 直結給水方式のメリット

貯水槽がない直結給水方式のメリットは、

- ① 水道事業者が供給する「安全でおいしい水」を直接飲むことができる。
 - ② 貯水槽のスペースを有効利用できる。
 - ③ 貯水槽の点検・清掃等の維持管理が不要。
 - ④ 配水管の圧力を利用するため、電気使用量を削減できる。
- などがあります。

4. 直結給水方式のデメリット

- ① 災害時や配水管施工時などには一時的に水が使用できなくなる。
 - ② 給水制限時には水の出が悪くなってしまう。
- などがあります。

5. 普及促進方法について

水道事業者によって、普及促進方法や給水装置設計・施工基準は異なります。

新築の建物については、給水能力や使用用途によって、制約を受ける場合もありますが、近年は水圧や水量が確保できれば、ほとんどの建物で直結給水方式の採用が可能となっています。

また、貯水槽水道方式を採用している既存の建物についても、水道事業者の規制緩和策などにより、直結給水方式への切替えが容易になっています。これは、平成17年9月、厚労省が貯水槽水道以下の給水設備を直結給水装置に切替える場合の留意事項を示したことで、特例的に「給水装置」として直結給水化することが可能となったことも後押ししています。

普及促進方法については、

- ① 「安全」「安心」「おいしい水」などのメリットを積極的にPRする。
- ② 貯水槽の撤去に伴い、既設給水管の増径が必要になる場合は分岐部から施行する。
- ③ 直結給水方式への切替えに際して、融資や助成を行う。

などの施策を実施している水道事業者があります。

【貯水槽水道（受水タンク）方式から直結給水方式へ切替えて敷地を有効利用した例】



写真1 施工前

写真2 施工後

（出典：水道技術ジャーナル 2015年1月）